

農業農村工学会・農業農村情報研究部会勉強会

次世代型農業水利サービスの展望

主催： 農業農村工学会・農業農村情報研究部会



後援： 文部科学省気候変動適応研究推進プログラム「地球環境変動下における農業生産最適化支援システムの構築」

日時： 2015年2月10日 13:00-16:45 場所： 愛知県三の丸庁舎 B101

趣旨： 農業就業者の減少及び高齢化が進行する中で、農村を維持し、農業を持続的に発展させるには、農業の担い手の育成・確保や農地の利用集積の促進を図ることが必要です。こうした中、農林水産省は次年度予算で次世代型農業水利システムの再構築を検討しています。一方、大学を中心に最近の ICT 技術を利用した農業水利サービスに関する技術開発が進められています。この技術は点在する水田湛水深を一括管理することを可能とし、水田農業の担い手と土地改良区職員の水管理労力を軽減するのに役立つことが期待されています。そして、それはまた地域の水管理組織であった土地改良区のサービス形態を変え、これまでの農業・農村を劇的に変化させる可能性を持っています。この会合では最前線で活躍する方々に農業水利サービスに関する話題をご提供頂き、農業農村工学会員と共に次世代の農業水利サービスについて議論したいと思います。

プログラム

13:00-13:05 開会あいさつ

13:05-13:10 歓迎あいさつ

13:10-13:30 農業農村情報と農業水利サービス 溝口勝（東京大学）

13:30-13:50 水田水管理サービスの研究開発 飯田俊彰（東京大学）

13:50-14:20 新たな農業水利システムの構築に向けた取組

増岡宏司・遠藤敏史（農林水産省農村振興局整備部水資源課）

14:20-15:00 休憩（実物展示）

15:00-15:15 水土里情報を活用した用水量の把握 村上義邦（愛知県土地改良事業団体連合会）

15:15-15:30 土地改良区からみた農業水利システムの現状と課題 岡田昌治（愛知用水土地改良区）

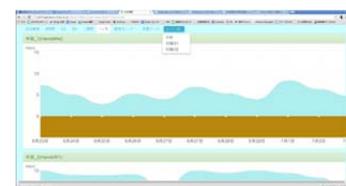
15:30-15:45 八郎潟での水田モニタリング試験 大黒篤（構造計画研究所）

15:45-16:00 水田水位の自動制御法 岡田康雄（京都府農家）

16:00-16:40 総合討論

16:40-16:45 閉会あいさつ

18:00- 情報交換会（会場：アイリス愛知）



2月11日 8:30-16:00 現地見学会（愛知用水管内：別紙）

申し込み方法： 農業農村情報研究部会のホームページから申し込んでください。

（↑申し込み）

<http://agrinfo.en.a.u-tokyo.ac.jp/>お問合せ先： 農業農村情報研究部会事務局 agrinfo-hq@iai.ga.a.u-tokyo.ac.jp (03-5841-1606)